

2017年1月20日

日本空港ビルデング株式会社
東京国際空港ターミナル株式会社

羽田空港は、OAG 社の実施する定時運航順守率ランキング 「OAG Punctuality League 2016」において 2年連続 世界第1位に



2017年1月19日 授賞式の様子

(左から) OAG 社：Mayur Patel 氏、TIAT 社：大山常務、JAT 社：知久専務、OAG 社：千葉氏

英国の OAG 社^{*1}が実施する定時運航順守率ランキング調査「OAG Punctuality League 2016」^{*2}の「大規模空港部門」^{*3}において、羽田空港 国内線・国際線が 2年連続で世界第一位となりました。

昨年に引き続き、このような受賞を頂けたのは、各航空会社、国土交通省航空局東京空港事務所をはじめとする全ての空港関係者のチームワークによって羽田空港の定時性に力を注いできた結果であると、大変光栄に受け止めております。

今回の結果を励みに、今後もオール羽田で連携し、国内線・国際線旅客ターミナルともに、利便性・快適性・機能性に優れた施設とサービスを提供してまいります。

(参考) OAG Punctuality League 2016 より抜粋

(2016年 大規模空港 定時運航順守率 世界第1位)

順位	空港名	コード	定時順守率
1	東京国際空港	HND	87.49%
2	サンパウロ・グアルーリョス空港	GRU	85.28%
3	デトロイト空港	DTW	84.64%
4	アトランタ空港	ATL	84.57%
5	ミネアポリス・セントポール空港	MSP	84.46%

注1) OAG (オフィシャル・エアライン・ガイド) アビエーション ワールドワイドリミテッド社
(=グローバル航空データソリューションプロバイダー)
英国に拠点を置く航空機運航情報会社。世界の航空関連データに関する収集および提供を行っている。



OAG 社 ホームページ : <http://oagaviation.jp/>

注2) OAG Punctuality League 2016
2016年(暦年)の全世界の空港もしくは航空会社の定期便運航データから、定刻より15分以内の遅れを“定時運航”と定義した上で定時運航順守率を集計し、空港規模や航空会社別などカテゴリー別の定時運航順守率ランキングをまとめた報告書。



「OAG Punctuality League 2016」
<http://www.oag.com/punctuality-league-2016>

注3) 大規模空港 (major category)
定期便の年間提供座席数が、2,000万座席以上の空港

羽田空港

羽田空港は、国内線第1、第2旅客ターミナルは日本空港ビルデング株式会社が、国際線旅客ターミナルは、東京国際空港ターミナル株式会社がそれぞれ所有、管理・運営をしています。

【本件に関するお問い合わせ】

日本空港ビルデング(株) 広報部 [TEL:03-5757-8030](tel:03-5757-8030)
東京国際空港ターミナル(株) 企画部 [TEL:03-6428-5901](tel:03-6428-5901)
(9:00~17:30) ※土日祝日除く。